

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	群馬パース大学福祉専門学校
設置者名	学校法人 群馬パース大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会福祉 専門課程	介護福祉学科	夜・通信	102 単位	6 単位	
	保育学科	夜・通信	85 単位	6 単位	
	介護福祉専攻科	夜・通信	66 単位	3 単位	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ掲載 https://ptc.paz.ac.jp/ 及び窓口等で閲覧可能
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	群馬パース大学福祉専門学校
設置者名	学校法人 群馬パース大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ掲載 https://www.paz.ac.jp/overview/information.php

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療法人理事長	2022.4.1～ 2026.8.3	医療機関連携
非常勤	株式会社（飲食関係）代 表取締役	2022.4.1～ 2026.8.3	基金
非常勤	株式会社（電気機器製 造）取締役副社長	2022.4.1～ 2026.8.3	学生支援
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	群馬パース大学福祉専門学校
設置者名	学校法人 群馬パース大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>			
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本校では各授業科目の内容がディプロマポリシー及び学科の教育目標から導出される学習到達目標を体現したものとなるよう適切なシラバスの作成に努めている。 シラバスの記載項目は、学科会議及び教務委員会において精査し決定している。各科目の単位認定者により作成されたシラバスは、各学科会議にてその適切性について点検・確認作業が行われ、必要に応じて単位認定者へ加筆修正を求めている。以上の作業を1月～3月にかけて行い作成し、完成したシラバスは4月より学生・教職員に配布・運用開始となる。 また、学外には本校ホームページにて毎年4月～5月に更新・公表している。</p>			
授業計画書の公表方法		ホームページ掲載 https://ptc.paz.ac.jp/	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>			
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位認定は、試験の成績(定期試験、授業内試験、レポート等)及び平常の成績(授業中の課題提出等)、出席状況等を総合的に判断して行われている。各授業科目の成績評価方法は、シラバスに明示されており、成績評価方法に従って点数化し、60点以上であることを合格としている。</p>			
A	B	C	D
100点～85点	84点～70点	69点～60点	59点以下
合格(単位認定)			不合格

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 各授業科目の成績評価方法は、シラバスに明示されており成績評価方法に従って点数化し、60点以上であることを合格としている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページ掲載 https://ptc.paz.ac.jp/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校の卒業認定は、社会福祉専門職としての教育目標及び教育方針を踏まえた各授業科目の学習到達目標に対する到達度を適切に評価した結果として単位認定し、本校に1年間または2年間以上在学し、学則に定める授業科目を履修して所定の単位を修得することとしており、学科別の卒業判定会議、教務委員会を経て学校長が承認する形で厳正に適用されている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ掲載 https://ptc.paz.ac.jp/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	群馬パース大学福祉専門学校
設置者名	学校法人 群馬パース大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ掲載 https://www.paz.ac.jp/overview/_pdf/financial_04taisayaku_2020.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページ掲載 https://www.paz.ac.jp/overview/_pdf/financial_01-03shushikeisansho_2020.pdf
財産目録	ホームページ掲載 https://www.paz.ac.jp/overview/_pdf/financial_05zaisan_2020.pdf
事業報告書	ホームページ掲載 https://www.paz.ac.jp/overview/_pdf/financial_06jigyohoukoku_2020.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページ掲載 https://www.paz.ac.jp/overview/_pdf/financial_07kansa_2020.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報 <介護福祉学科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		教育社会福祉	介護福祉学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	101単位	74単位	17単位	11単位		
			102単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		87人	40人	5人	17人	22人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の各項目で2年間厚労省の指定時間1850時間を上回る2115時間を確保し、特に医療的ケアに関するカリキュラムに重点をおいている。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目の成績評価方法は、シラバスに明示されており、その成績評価方法に従って点数化し、60点以上であることを合格としている。
卒業・進級の認定基準
（概要）各授業科目の学習到達目標に対する到達度を適切に評価した結果として単位認定し、進級判定会議、卒業判定会議及び教務委員会を経て学校長が承認する形で厳正に適用されている。

学修支援等 (概要) 担任制を導入し、学生一人一人の習熟度に合わせて授業進行を実施 また、就職相談専担者を配置し就職についての相談・支援にきめ細かく対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
44人 (100%)	0人 (0%)	42人 (95.5%)	2人 (4.6%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、障害者支援施設など			
(就職指導内容) 就職指導担当教員による面接指導、履歴書記入要領指導、校内就職説明会の開催			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 介護福祉士受験資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
91人	3人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教員全員による、学生一人一人の生活面も含めた情報の共有		

①学科等の情報 < 保育学科 >

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
教育社会福祉		教育社会福祉	保育学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	68単位	31単位	45単位	8単位	1単位
			85単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
100人		42人	0人	7人	20人	27人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）「保育の本質・目的」「保育の対象の理解」「保育の内容・方法」「保育実習」「総合演習」「教養科目」2年間で2235時間を確保し、特に本校と隣接する渋川市が運営する「渋川市子育て支援総合センター」との連携により実践学習に力点を置いている。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目の成績評価方法は、シラバスに明示されており、その成績評価方法に従って点数化し、60点以上であることを合格としている。
卒業・進級の認定基準
（概要）各授業科目の学習到達目標に対する到達度を適切に評価した結果として単位認定し、進級判定会議、卒業判定会議及び教務委員会を経て学校長が承認する形で厳正に適用されている。
学修支援等
（概要）担任制を導入し、学生一人一人の習熟度に合わせた授業進行を実施また、就職相談専担者を配置し就職についての相談・支援にきめ細かく対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100%)	5人 (31.3%)	10人 (62.5%)	1人 (6.25%)
（主な就職、業界等） 保育園、こども園、障害者支援施設など			
（就職指導内容） 教養科目の中に、「保育キャリアデザイン」を設け面接指導、履歴書記入方法等の説明会の実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 保育士、幼稚園教諭2種免許			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	1人	2.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教員全員による、学生一人一人の生活面も含めた情報の共有		

① 学科等の情報 <介護福祉専攻科>

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育社会福祉		教育社会福祉	介護福祉専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	66単位	48単位	13単位	5単位		
			66単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		5人	2人	3人	9人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）「人間と社会」「介護」「こころとからだのしくみ」「医療的ケア」の各項目で1年間厚労省の指定時間1205時間を上回る1335時間を確保し、特に医療的ケアに関するカリキュラムに重点をおいている。
成績評価の基準・方法
（概要）各授業科目の成績評価方法は、シラバスに明示されており、その成績評価方法に従って点数化し、60点以上であることを合格としている。
卒業・進級の認定基準
（概要）各授業科目の学習到達目標に対する到達度を適切に評価した結果として単位認定し、進級判定会議、卒業判定会議及び教務委員会を経て学校長が承認する形で厳正に適用されている。
学修支援等
（概要）担任制を導入し、学生一人一人の習熟度に合わせた授業進行を実施また、就職相談専担者を配置し就職についての相談・支援にきめ細かく対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	4人 (100%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 特別養護老人ホーム、介護福祉協議会、こども園など			
（就職指導内容） 就職指導担当教員による面接指導、履歴書記入要領指導、校内就職説明会の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士受験資格			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉学科	100,000 円	650,000 円	200,000 円	
保育学科	100,000 円	650,000 円	300,000 円	
介護福祉専攻科	100,000 円	650,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ掲載 https://ptc.paz.ac.jp/ 及び事務室窓口にて閲覧可能		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 業界等関係者 3 名、卒業生 1 名、教育に知見を有する者 1 名、その他校長が必要と認める者 1 名から成る委員会を組織し、同委員会に委員長を置く。 委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。また、校長は教育活動や学生支援等に対する委員会の審議や意見等を尊重し、学校運営の改善や次年度の計画策定に活用する。自己評価結果の内容、結果を踏まえた今後の改善策、学校運営の改善に向けた実際の取組等について評価する。(経営の健全性、教育課程、進路指導等)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
元高校長、元短期大学教授、 専門学校講師	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	教育に関し知見を有する者
市立幼稚園 園長	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	関連業界等関係者
介護付有料老人ホーム 保健部次長	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	関連業界等関係者
特別養護老人ホーム 事務長	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	関連業界等関係者
医療法人社団 介護主任	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	卒業生
私立幼稚園 園長	2022. 4. 1 ～2024. 3. 31	その他校長が必要と認める者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ掲載 https://ptc.paz.ac.jp/ 及び事務室窓口にて閲覧可能		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

ホームページアドレス <https://ptc.paz.ac.jp/>